

教科・科目名	単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
地理歴史 日本史B	3	2年 普通科 (文系)	<b>選択 必修</b>	詳説 日本史B (山川出版社)	新詳日本史(浜島書店) 要点整理ゼミナル日本史 (浜島書店)

学習目標	「我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う」という学習指導要領の目標にもとづき、日本史全般を学習する力を養う。
主な学習内容	○「第Ⅰ部原始・古代」では、旧石器時代から平安時代までを扱い、原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色について、歴史的資料に基づいて、東アジア世界の動向と関連付けて考察を深める。 ○「第Ⅱ部中世」では、中世国家と社会や文化の特色について、歴史的事象の推移や変化を追いながら、東アジア世界の動向と関連付けて考察する。 ○「第Ⅲ部近世」では、近世国家と社会や文化の特色について、複数の歴史的な解釈があることを踏まえて、国際環境と関連付けて考察する。 ○「第Ⅳ部近代・現代」の前半では、明治時代から第二次世界大戦までを扱い、近代国家の形成と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察する。 ○「第Ⅳ部近代・現代」の後半では、第二次世界大戦後を扱い、現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連付けて考察し、世界の中での日本の立場について認識を深める。また、その歴史的な認識を資料を活用して自ら探求することで、歴史的な見方や考え方を身に付けさせる。
評価の 観点・規準	「知識・理解」…教科書の内容を理解している。その背景にある文化を明確に読み取ることができる。 「思考・判断・表現」…教科書や資料を通して、自分の考えや意見をまとめることができる。 「資料活用の技能」…教科書や資料集等から情報を正確に読み取ることができる。 「関心・意欲・態度」…積極的に授業に参加している。科目に対して、自学学習などを行っているか。科目に対して、自学学習などを行っている。また、グループ学習等に進んで取り組んでいる。
評価の方法	「知識・理解」…定期考査や小テスト等で適確に理解しているかを評価する。 「思考・判断・表現」…グループ学習やディベートを通して自分の考え・意見を的確に表現することができているかを評価する。 「資料活用の技能」…レポートの提出等を通して情報を正確に読み取ることができているかを評価する。 「関心・意欲・態度」…定期考査・小テスト・授業の質問・グループ学習の取り組み方を総合的に評価する。

学期	内容
1 学期	第Ⅰ部原始・古代、「第1章日本文化のあけぼの」から「第3章貴族政治と国風文化」を中間考査までに学習する。 ----- 第Ⅱ部中世、「第4章 中世社会の成立」、「第5章武家社会の成長」を期末考査までに学習する。
2 学期	第Ⅲ部近世、「第6章幕藩体制の確立」から「第8章幕藩体制の動揺」を中間考査までに学習する。 ----- 第Ⅳ部近代・現代、「第9章近代国家の成立」から「第10章二つの世界大戦とアジア」の「2ワシントン体制」までを期末考査までに学習する。
3 学期	第Ⅳ部近代・現代、「第10章二つの世界大戦とアジア」の「3市民生活の変容と大衆文化」から「第13章激動する世界と日本」を学年末考査までに学習する。

備考 ・ 講座の特色 ・ 履修条件 ・ 注意事項 等	中学社会での学習を前提として、基本的な語句・事項の理解からはじめ、より深い内容を学ぶとともに大きな歴史の流れ・展開を理解することを重視して学習を進めます。教科書・資料集・ノートなどをフルに活用するので毎回必ず用意して下さい。学習進度がかなり速いので予習・復習など自主的に取り組むことを望みます。 スタンダードクラスは全員必修。
--	--